

〈実践編〉納戸②

第2回の実践編は納戸Aの片付け。衣装ケースやハンガーにかけた衣類を少し移動させるだけでスッキリとした空間を生み出した。



1 収納場所や物の把握はしっかりと

事前の打ち合わせで計測した納戸の間取りや収納している物を把握し、リスト化していく。このリストを元に具体的な収納場所を決定し、片付けの手順を確認することでスムーズな作業につながる。今回は物の種類が多い事、取り出しやすさなども考慮し、読者モニターと相談して棚を購入することにした。

2 全て出して把握

物の把握と作業効率を高めるため、まずは中の物を全て出す。こんな物もあったんだと新たな発見をすることも!



3 ケースやハンガーの位置を工夫するだけで空間を確保



90°回転!

納戸Aにはフタ付きの衣装ケースがたくさん。中には、洋服や着物、子どもの思い出の品などさまざまな物が入っている。種類ごとに入れ替える作業と断捨離をしながら、整理し直した。衣装ケースの大きさも違うので、大きなケースには普段あまり使わないものを収納し、下から並べる。その上には比較的使うものをしまった少し小さな衣装ケースを重ねた。置き方は、壁にそって横向きに変更することで奥までの通路を確保した。



3本あるハンガーパイプの内、一番手前に吊るしていた衣類を一番奥へと移動。これだけでも納戸Aがスッキリした。衣装ケースを横置きにしたことで、奥への通路も確保できたので取りやすさもばっちり!

少しの工夫で驚くほど快適に!

vol.66

くらしの 整理収納術

整理収納アドバイザー・住まい方アドバイザー 佐藤江理子さん

Profile / 1974年酒田市出身。(株)佐藤江理子建築工代表取締役。二級建築士、インテリアコーディネーター、整理収納アドバイザー1級、住宅ローンアドバイザーの資格を持ち、お金のことから間取り・インテリアなど家づくりの全てを担当している。近藤典子暮らしアカデミー第4期生で山形県唯一の「住まい方アドバイザー」。

